

地域医療連携室たより

No.19

信頼と融和で創るよい医療

安全・安心・信頼される公正な医療の実践

発行日

2010年10月30日

医療法人社団松柏会
至誠堂総合病院



地域医療連携室たより
第19号

内科医として、 医療・介護の充実を目指して



内科医

いとう えいそう
伊藤英三 医師

- 山形県飯豊町生まれ
- 1977年 東北大学医学部卒
- 1977年 山形市立病院済生館
- 1979年 至誠堂総合病院 着任
- 内科学会認定医
- 医学博士

医師としての出発点

山形県飯豊町で生まれ育ち、東北大学医学部を卒業して、山形市立病院済生館での2年間の初期研修を経ました。その後、当院へ赴任しました。当院に来てから山形大学医学部第一内科に入局して臨床研修と研究活動、さらに学生指導の一部を担いました。そこで現病院長である高橋敬治先生との出会いがありました。呼吸器科は肺炎や慢性呼吸不全など人の生き死に関わる重要な領域だと思い、呼吸器科医師として出発しました。

呼吸器患者会 あおぞら会との関わり

慢性呼吸不全は息ができなくなる苦しい病です。簡単に治るものでもなく、楽ではない状態が続いていきます。生命予後もわからない、いつまでこの苦しさが続くのかという苦悩があります。かつて病気を苦

にして患者さんが自殺するという出来事がありました。それはADLが徐々に低下して自らの尊厳が失われていくことを苦にした自殺でした。医師はその苦しさに応えきれるものではありません。しかし患者同士であれば医療者とは違う共感をもって関わり、心の痛みが緩和されることもあります。そこから当院の呼吸器患者会「あおぞら会」が始まりました。今もこれからも患者会の活動を大事にしていきたいと考えております。



呼吸器患者会あおぞら会 学習会にて

親の介護を通じて「自分の親だったら……」

両親が介護を受けた経験があり、父親は介護制度ができて間もない頃に、母親は胃瘻を作り在宅でヘルパーさんに手伝ってもらいながら数カ月療養しました。母は長い入院生活を経て、いつも「うちに帰りたい」と言っていたので、それを叶えることができたと感じています。

医療要求には地域性があります。遠くの場所に充実した医療設備があっても甲斐がありません。それぞれの地域で（母の望んだ自宅近郊でも！）充実した療養環境が保障されるべきと考えています。当院は高齢者が多いのですが「自分の親だったらどうされたいか」を大事に診療しております。また当法人で行っている訪問診療は、病院に来られない方にも出向いて治療することができるので良いと感じました。



国民健康保険料値上げ反対 (2010.4)

介護制度についても一言、家で過ごしたい方は家で安心して見られるようにもっと充実した制度を、自宅での介護が困難なのであれば安心して任せられる場所を、それぞれの選択肢が保障されるべきと思っています。

これからの夢

今は現場もやりながら管理業務を行っている多忙な状態で、特にここ数年は書類作成や綿密な病状説明などに時間を要しております。大変です。もっとゆとりをもって現場での診療に当たることができればいいと思います。そして病院の中だけでは完結しきれない健康を守る活動、介護をはじめとした社会保障の充実などを求める働きかけをしたいです。もうひとつ、いのちを守る医師として平和への活動を続けていきたいです。

普段の楽しみは？

猫を飼っていて、じゃれあって楽しんでいます。

孫が生まれて、今1歳半となりました。遠方に住んでいるのですが、時々山形まで会いに来てくれます。別れ間際に泣きべそ顔になったりすると、とても愛おしくなります。

あとは西村京太郎などのサスペンスドラマが好きでよく見ます。小説も枕元に置いてあるのですが10分もするといつの間にか寝てしまっています。

プリセプティ会 開催

互いに励まし、高めあおう。 新人ナース、がんばれ！



当院は看護師の教育にプリセプターシップを用いています。先輩看護師（プリセプター）が新人看護師（プリセプティ）とペアを組み、日常業務を通じてマンツーマン指導を行います。

9月9日（木）午後、当院講堂にてプリセプティ会が開催されました。今年の新人看護師10名が一同に会しました。勤務し半年が過ぎた新人看護師たちは、毎日の業務にも少し慣れたころです。

2つの班に分かれ、グループワーク。KJ法で行われました。さて、どんなことがだされたのでしょうか。一部

をご紹介します。

患者さんとの思い出、うれしかった時

患者さんがしだいに回復し、できることがどんどん増え、元気になっていくのを感じた時。「ありがとう。」と言ってもらった時。

失敗談は？

点滴がもれてしまった。駆血帯の帯を忘れてしまった。医療器具の物品名がわからず困った。

悩んでいることや困っていること

家族との対応が苦手。業務の優先順位がわからなくなる。患者さんの歌っている歌が旧くて、わからない。

1年後にはどんなナースになりたいか？ 挑戦したいこと

点滴がうまくなりたい。心電図の波形について学びたい。回復期リハ、呼吸器疾患、嚥下障害について学びたい。いつも笑顔で、どんな時も冷静に行動したい。疾患と病状を関連させて学びたい。

日頃緊張して業務をこなす新人ナースも、この日は笑顔で本音がでます。技術を磨き、そして患者さんを支える看護をしたい。グループワークの後、サブライズとして「新人ナースへの応援メッセージ」がビデオレターとして各病棟の看護師長、先輩看護師達からありました。これにはみな思わず目が「うるる」です。

終了後のプリセプター達の反省会では「良かった。先輩看護師も含め、みんなの成長が感じられた。」との話しが出されました。がんばれ！ 新人ナースたち。



高校生一日医師体験を行っています。

確かな技術、温かい人柄の医師になりたい



参加者からは、「医療のことを考え、受験勉強の励みになった。テレビでしか見たことのない手術室を見学出来て感動した。たくさんのスタッフが関わっているんだと感じた。確かな技術を持ち、温かい人柄の医師になりたい。」など熱い感想が寄せられました。今後も本企画を続け、医師を目指す高校生を励ましていきたいと考えます。

当院では医師を目指す高校生を対象に、長期休みを利用し、春と夏に「高校生一日医師体験」を行っています。今年の夏、8月7日、12日、9月18日の3日間で17名の高校生が参加。鈴木光典医師の指導のもと、血圧測定・注射・縫合の体験、検査室や手術室見学を行いました。



内視鏡室にて

我がが街 桜町・木の実町・旅籠町商店街 ⑨



「ほっ」と和む空間 理容 マキノ

山形市桜町8-53 TEL 023-631-5513

◇牧野スミ子さんに聞く

昭和33年創業。現在は、娘さん2人にお店をまかせています。

「ほっ」とする雰囲気昭和の良いモダンな風情が店内を包んでいます。理容室ならではの顔剃りを1時間かけて丁寧に行っており、特に女性の方にはお勧め!!です。フェイシャルエステも行っています。オゾンが出る蒸気でマッサージを施します。ニキビが出る、顔の張りが無くなった、化粧ののりが悪い、などでお悩みの方は特にどうぞ。希望される方は前日まで要予約をお願いします。

- フェイシャルエステ（1時間）
- フェイシャルエステ+シェービング付（2時間）

男性も、もちろんOK。駐車場もあります。皆さんどうぞご利用ください。



日本医療機能評価機構認定施設
病院機能評価 Ver.5



編集後記

3ページに掲載した看護部門のプリセプティ会に参加。不覚にも涙がでました。温かい人間関係を築きたい。(K)

至誠堂総合病院

地域医療連携室

山形市桜町7-44
023-622-7551

<http://www.shiseido-hp.jp>

mail@shiseido-hp.jp

発行責任者 至誠堂総合病院副院長

伊藤 英三

編集 地域医療連携室